

○実践女子大学・実践女子大学短期大学部 井口眞美准教授による講義の様子と生徒の感想



講義名：「幼稚園・保育園の生活をのぞいてみよう」

☆生徒から講師の先生へのお礼と感想

1年 Y.Rさん

手遊びをするだけでも数字を覚えるなど、遊びの中にもたくさんの学びの可能性が内包されていることを知ることができました。遊びながらの学びは子供達の興味も湧くため、遊びはとても大事な事が分かりました。

他にも本講義を受講し、全国で幼稚園児の数が減っているのは家庭での事情で行けない子供達が増えているので多くの子供達が行けるような制度が増えて欲しいと思いました。保育士は子供達との交流だけでなく、保護者との協働も大事な事が分かりました。幼稚園において先生の言うことを聞く子を育てたり、早期教育をさせたりすることは間違っていることが分かりました。

今までは幼稚園の頃から勉強をし、脳を発達させていると考えていましたが、違うことを知り、興味深いです。大事なことは「遊びを通した教育」と「環境を通した教育」とあり、心に刻みたいと思いました。一人一人性格や運動能力の差もあるので、個々への対応の難しさを思い知りました。

井口先生も最初の頃は子供達の考えがわからない時もあり、一緒に過ごすことで気づかせてくれるとおっしゃっていました。保育士という職業は子供にたくさん関わるこそ第一義であると学びました。

本日は貴重な講義を受講させていただき、本当にありがとうございました。

1年 K.Aさん

幼稚園や保育園では幼児が「興味関心、意欲、態度」を学び、小学校に通うことになってからの友達との関わり方やルールへの遵守、授業への取り組み方を自然と身につけさせるように心がけているそうです。最近の子供達は共働きの家庭が多いため、私たち高校1年生が幼稚園に通っていた学年以降、年々幼稚園に通う子供達よりも保育園に通う子供達が増えてきているそうです。保育園の増加は会社の中や空港に保育園が出来るという形で、数が増えていることをグラフで見せていただきました。また、家庭保育が最近人気だそうです。保育士に家に来てもらい、仕事から帰ってくるまで子供を預かってもらうという家庭が増えているそうです。

子供達は1つのことから多くの遊びを思いつくため、先生たちはその遊びに合わせて一緒に遊ばなければいけません。子供のために自分たちも多くの遊び方を知っておく必要があると感じました。先生たちは毎日のスケジュールに沿って子供達と関わっているそうです。先生たちは時間通りに子供達にどう動いてもらうかを常に考えていかなければならないことに楽しいだけではないということを勉強させていただきました。

今日は貴重な講義を受講させていただき、本当にありがとうございました。